

第8回 作業療法ジャーナル研究助成

小林 郁氏の「特別支援学校で働く教員の専門性とは」に決定



受賞者 小林 郁氏

先日、第8回 作業療法ジャーナル研究助成対象選考会が開かれ、研究助成対象に小林 郁氏の研究が選ばれた。研究テーマは「特別支援学校で働く教員の専門性とは」で、教員の専門性と学校で必要とされる作業療法支援について分析し、互いの専門性を生かした子どもたちの支援のあり方を見いだす予定である。助成対象期間は3年間であり、助成金額は30万円である。研究経過については、次年度の作業療法ジャーナル誌に掲載する。

第8回研究助成を受けて

小林 郁

(神奈川県立相模原中央支援学校、作業療法士)

このたび、第8回 作業療法ジャーナル研究助成の対象となることができました。選考に関わっていただきました関係者の皆様、選考後に助成を受けるにあたってご尽力いただきました皆様に大変感謝し、御礼申し上げます。

研究テーマは、「特別支援学校で働く教員の専門性とは」です。近年、文部科学省により「PT、OT、ST等の外部専門家の活用事業」が展開されたため、全国的にPT、OT、ST等の外部専門家が学校内に入ることが多くなりました。

私自身も2009年度（平成21年度）より特別支援学校で働いています。私たち医療職と教員とでは、同じように使っている言葉でもとらえ方が違う場合や、互いにとって常識とされることが違う等の職業背景による文化の違いがあります。多々の違いに戸惑う中で、OTのもつ専門性を活かすには、教員という

職種について理解を深めると同時に、教員の専門性を知る必要があるのではないかと考えました。

本研究では、共同研究者である神奈川県立保健福祉大学の長谷龍太郎教授と共に、調査研究の手法を用い、授業参観とその後の教員へのインタビューから、特別支援学校に勤務する教員の専門性を、理論的背景、教育の核等から分析・理解していきたいと思います。教員の専門性を分析・理解することで、OTと連携する教員に期待できる知識や技能と、OTから提供しなければならない専門領域の事柄を明らかにすることができると考えています。

このたびの研究に助成をいただけたことに感謝し、研究成果が今後の作業療法の発展に寄与できるよう努力したいと思います。